



日頃から沖縄県貿易協会の活動にご理解ご協力頂き感謝いたします。

この沖貿協レターは、沖縄県の貿易の発展の一助になるよう沖縄県貿易協会会員や関係機関等に向けて各種情報を配信するものです。

===== 目 次 =====

- 1 沖貿協レター発刊によせて
(一般社団法人沖縄県貿易協会会長 新垣 旬子)
- 2 エッセイ 万国津梁を目指して
(内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 滝本 浩司 様) ※寄稿時
- 3 支援機関等からの新着情報
- 4 沖縄県貿易協会からのお知らせ
- 5 会員紹介 ～わが社のいち押し～
(宜野座の純黒糖屋 代表 渡久地 克 様)
- 6 連 載 ～健康経営のすすめ～
(医療法人社団菱秀会 KIN 放射線治療・健診クリニック院長 梁 英樹 様)

=====

- 1 沖貿協レター発刊によせて
一般社団法人沖縄県貿易協会会長 新垣 旬子

日頃から沖縄県貿易協会の活動にご理解とお力添えをいただき大変感謝申し上げます。

近年、新型コロナウイルス感染症拡大、また、ロシアのウクライナへの軍事侵攻に端を発したエネルギー価格、食料価格の高騰、円安は、企業活動に大きな影響を与えておりますが、貿易協会の会員企業におかれましては、ものの流れを止めることなく稼働させ、県民の暮らしや経済を日夜支えていただいていることに敬意を表します。



一方、足元では、価格高騰によるコスト転嫁、人材確保、事業の効率化、カーボンニュートラルへの対応など様々な課題が山積しておりますが、コロナ規制緩和により、国内観光客はじめインバウンド需要の回復、クルーズ船や国際線の再会など回復基調にあり、明るい兆しも見えてきました。

これまで当協会は、会員のみならず、沖縄県の貿易の発展に向け、国県等から人材育成事業、展示会事業などの受託事業、自主事業など支援機関と連携し取り組んで参りました。

今回発刊する「沖貿協レター」では、協会事業だけでなく、行政や支援機関等からのエッセイ、会員情報、健康管理の情報を連載した内容としております。

発行を機に協会の設立目的である「沖縄県の貿易を振興し、地域経済の発展を図るとともに、会員相互の協調と親睦の増進」に繋がることを願っております。

=====

2 エッセイ ～万国津梁を目指して～

内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 滝本浩司 様 ※寄稿時



かつて琉球王国は、事実上鎖国していた明より冊封を受けることで年一回の往来を許された。他の国には無い特権を得て、明との貿易拠点＝万国津梁の地として栄えた。今、再びアジアのハブとしての地位を取り戻すにはどうしたらいいか？ かつての冊封のような決定的なアドバンテージは何か？ 探し続けているが見つからない。海運での給水地点としての価値、空運での給油地点としての沖縄のメリットは船舶や航空技術の発展で殆ど失われている。今しばらくは、沖縄にしか無いもの、きれいな海や独特な文化、食べ物を海外に発信し売っていくことを地道に続けるのが大切と思う。沖縄の外に出ることで沖縄の良さが見えてくる、万国津梁を目指して皆さん旅に出ませんか？

※入稿後、7月4日付けで経済産業省へ転勤されました。今後のご活躍をご期待申し上げます。

=====

3 支援機関等からの新着情報

○「令和5年度那覇港輸送効率化支援事業」公募開始のお知らせ

補助経費：那覇港を利用した輸送ルートの手配後の海上輸送費・陸上輸送費・保管費用等の経費の50%を対象とし、1事業あたり最大100万円を補助。

申請期間：令和5年12月31日(日)締切

事業詳細・申請方法：<https://nahaport.jp/business/support/shipper2/>

問い合わせ先：那覇港管理組合みなと振興課 企画・物流班(担当：嘉陽田)

TEL：098-868-2582

○GFP輸出スタートアップ沖縄サミット

～キックオフセミナー&マッチング～」のご案内

日時：2023年7月27日(木)10:00~17:00

場所：浦添市産業振興センター・結の街

申込：<https://forms.gle/FrMR5srfTXm85Zko6>

○「ジェットロ食品輸出商談会 at 沖縄大交易会」 サプライヤー募集のご案内

募集期間：2023年7月21日(金) 23:59 (Step1)

日時：2023年11月16日(木)～11月17日(金)

場所：リアル開催(商談会場：沖縄コンベンションセンター)

海外バイヤー：日本食品関連企業(輸入・卸売業者、小売業者)合計9社(9ヵ国)

<内訳>オランダ、英国、スウェーデン、米国、チリ、中国、カンボジア、マレーシア、
フィリピン

○【再公募】令和5年度沖縄国際物流ハブ活用推進事業補助金(県産品ブランド構築支援)の公募について(公募事業)

公募期間：令和5年6月22日(木)～7月21日(金)正午(必着)

公募概要：<https://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/asia/documents/20230622brand.html>

問い合わせ先：公益財団法人沖縄県産業振興公社 産業振興部海外・ビジネス支援課

TEL：098-859-6238

○令和5年度九州・沖縄地域における地域ブランド海外展開支援事業(公募事業)

公募期間：令和5年6月28日(水)～令和5年7月20日(木)

公募概要：https://www.ogb.go.jp/keisan/12981/Folder02/230628_01

問い合わせ先：内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課 知的財産室

TEL：098-866-1730

4 沖縄県貿易協会からのお知らせ

(1) 参加者募集

令和5年度内閣府沖縄型産業中核人材育成事業

デザイン思考による海外マーケティング戦略策定講座の受講生募集

対象：①製造業・ものづくり・卸売業・小売業・メーカーの方(定員20名)

②クリエイター(デザイナー/IT/デジタル関連)の方(定員10名)

締切：8月2日(水)

申込：<https://okinawa-trade.or.jp/2023/07/07/r5zinai/>

問合せ：一般社団法人沖縄県貿易協会 知花・伊礼

(2) 第32回定時総会報告

去った、6月21日、沖縄県貿易協会の第32回定時総会を沖縄産業支援センター大ホールにて開催し、R5年度事業計画、新役員等が承認されました。



① 令和5年度の主な事業

○受託事業

- ・ 内閣府沖縄型産業中核人材育成事業
デザイン思考による海外マーケティング戦略策定講座

○自主事業

- ・ 2023年度日本産食品サンプルショールーム（JETRO）への展示会への参加
- ・ 物流部会・商流部会の開催（8月、11月）
- ・ 地域会員等との意見交換（八重山地域、北部地域）



② 新役員・理事、監事紹介

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 | 役 職 |
|------|-------|-------------|---------|
| 会 長 | 新垣 旬子 | 株式会社新垣通商 | 代表取締役 |
| 副会長 | 新城 英二 | 大成通関株式会社 | 代表取締役社長 |
| 副会長 | 東郷 清龍 | 株式会社石垣の塩 | 代表取締役 |
| 副会長 | 名嘉 重則 | 那覇青果物卸商事協同合 | 理事長 |
| 専務理事 | 新垣 昌人 | 株式会社サンテック開発 | 専務取締役 |
| 理 事 | 金城 英樹 | 株式会社湧川商会 | 代表取締役社長 |
| 理 事 | 山内 昌幸 | 株式会社許田商会 | 代表取締役社長 |
| 理 事 | 吉岡 浩志 | 琉球物流株式会社 | 代表取締役専務 |
| 理 事 | 比嘉 智秀 | 株式会社ホクガン | 代表取締役 |
| 理 事 | 大城 勤 | 忠孝酒造株式会社 | 代表取締役社長 |
| 監 事 | 豊里 友亨 | 沖縄第一倉庫株式会社 | 代表取締役社長 |
| 監 事 | 淵辺 俊紀 | 株式会社ジェイシーシー | 代表取締役 |

5 会員紹介 ～わが社のいち押し～ 宜野座の純黒糖屋 代表 渡久地 克 様

～黒糖職人がつくる究極の純黒糖～

宜野座の純黒糖屋は、沖縄県宜野座村にある純黒糖製造所です。

黒糖は、沖縄の代名詞ともなっている特産品ですが、宜野座の純黒糖屋が作る純黒糖は、県外、海外の黒糖ファンからも注目される逸品として評価を受けています。



渡久地代表は、祖父から受け継いだ機械で昔ながらの製法で純黒糖の製造を行っています。純黒糖の製造工程はさとうきびの絞り汁にカルシウムを入れ煮詰めて冷まして完成です。渡久地代表の味への拘りは、さとうきびの収穫から炊き上げまでを2時間



高温で炊き上げたサトウキビ汁。粘度を見極めながら攪拌。

以内に行うことに拘っています。さとうきびは収穫から絞りまでの間に劣化が進むため、収穫から絞り、煮詰め、冷ますまでの一連の作業を短時間で行うことが最も重要だそうです。また、渡久地代表は、絞るさとうきびの糖度にあったカルシウムの配合を人感センサーだけで判断するという究極の技を持っています。この技によりさとうきび本来の味、風味を残した究極の純黒糖に仕上げることができるそうです。

祖父の黒糖づくりを9歳から手伝い、当時からカルシウムのPH合わせを任せられ、気づけば35年の経歴を持つ。

こうした長年の経験から材料を見極める視覚、嗅覚、味覚、体感が研ぎ澄まされて初めて実現できる、まさに黒糖職人がなせる技が生んだ純黒糖です。



純度100% 贅沢一番搾り製法。

大量生産による利益追求ではなく、さとうきび本来の味を消費者に味わってもらいたいという思いが込め日々純黒糖づくりに励んでいる渡久地代表に今後も目が離せません。

宜野座の純黒糖屋は、那覇空港から高速道路経由で約1時間、周りはサトウキビ畑に囲まれた集落の一角に工場を構えています。商品の「宜野座の純黒糖」は、宜野座村内の「道の駅ぎのざ」やネットショップで購入できます。

Instagramでは「ginoza510」で情報発信しておりますので要チェック！！

□代表からひとこと

宜野座の純黒糖は、丹精込めたさとうきびの収穫から炊き上げまでを2時間以内に

行うことで、さとうきび本来の味、風味を残した究極の純黒糖です。一度お試しください。

□詳細はこちら！！

Instagram「ginoza510」で検索！！

□名称：宜野座の純黒糖屋

□代表者：渡久地 克 様

□所在地：沖縄県宜野座村字宜野座 8 2 0 - 2

□電話：0 8 0 - 4 2 7 4 - 5 4 2 2



～マメ知識～

黒糖には黒糖と加工黒糖があり、さとうきび原料100%で製造したものが黒糖。黒糖に粗糖（白砂糖の原料）や糖みつなどほかの原料を混ぜたものを加工黒糖として区別されています。また、黒糖には、ミネラルが豊富に含まれていて、夏バテ時の疲労回復によい健康食品としても注目されています。

6 連 載 ～健康経営のすすめ～

医療法人社団菱秀会 KIN 放射線治療・健診クリニック院長 梁 英樹 様

これからの企業の成長、また貿易の発展にも繋がる「健康経営」への取り組みの一助として、健康に関する話題も交えてシリーズでご紹介できればと願っております。

はじめにわたくしの勤務する KIN 放射線治療・健診クリニックを紹介いたします。まず一般に言う「けんしん」には健診と検診の二種があります。健診は健康かどうかをしらべ、病気の危険因子を見つけることであり（一次予防とされる）、肥満、メタボリックシンドローム、生活習慣病などについてチェックします。他方、検診とは特定の病気を早期に発見、早期に治療すること（二次予防）を目的とし、種々のがん検診、脳血管や心臓などを調べます。当院は質の高い健診と検診を通じて、沖縄県の健康や社会に貢献できることを経営理念としております。



かつて長寿県として知られた沖縄ですが、令和2年の集計では男性の平均寿命は80歳、女性87歳でそれぞれ全国43位、17位に下落しました。また20歳以上の男性の41%、女性の25%が肥満とされ、これまた全国平均を上回っています。特に40から50代の働き盛り世代の肥満者は5割を超えており、健康問題が深刻化している現状と言えます。

企業における従業員の健康とは、従業員個人の問題のみならず企業の生産性、企業イメージ、離職率、業績にも直結する要因といっても過言ではありません。

今回の新型コロナウイルスのパンデミックにより、医療現場ばかりでなく、多くの企業が資金調達に苦しみ、人手不足から過重労働も重なり、行政から労働改善指導を求められ経営側も苦労したと聞きます。

病気はその原因が分かり、それに対する治療法が確立すれば治すことは容易です。例えばウイルス性肝炎は原因となるウイルスが発見され排除する薬が開発されて治る病気となりました。しかしながら、癌をはじめ多くの病気は原因が不明でいまだ有効な治療法がなく、やはり予防や早期発見が重要となります。

企業の経営課題も多種多様で複雑に絡み合っていることとは存じますが放置すると取り返しのつかない状態になるのは病気と同じではないでしょうか。

最近注目される健康経営優良法人という言葉をご存じですか。保険者と連携して優良な健康管理を実践している法人を指しますが、そのメリットは金利優遇や資金の公共調達、保険料の割引など、優遇措置が受けやすいこととされています。詳細は次に置きますが、従業員の健康管理は、行政のみならず企業においても大きな課題となっております。

最近、健康リテラシーという言葉が使われるようになりました。もともと読み書き能力という意味ですが、企業の健康は、企業にとっての財産である従業員を守るため、健康に関する正しい知識をつけ、それを実践することが重要となっていくことはいうまでもありません。

今回は、健康経営優良法人の大切さについてご紹介します。

梁 英樹（りょう ひでき）氏 経歴

埼玉県出身、2020年からKIN放射線治療・健診クリニック院長、1980年東邦大学医学部卒業、自治医科大学医学部麻酔科、東京女子医科大学消化器外科にて研究に従事。以来40年、外科医人生を歩む。

胆道と膵臓を専門に県内のハートライフ病院でも外科臨床に携る。

医学博士、産業医、日本外科学会専門医、指導医、日本消化器外科学会専門医、指導医、乳癌学会認定医、麻酔科標榜医

医療法人社団菱秀会 KIN放射線治療・健診クリニック

最新鋭の医療機器を揃え、高精度の健診サービスを提供

メディカルツーリズム（国内外）に尽力している

<https://www.kmc.or.jp/medical-okinawa/>

=====
7月号発刊にあたり、ご協力いただいた皆様、本当ありがとうございました。
沖貿協レターに掲載して頂きたい情報があれば、担当者までご連絡ください。
=====

☆沖縄県貿易協会は、沖縄県の貿易の振興と地域経済の発展に貢献します！！

☆貿易に関する相談、各種事業についてお気軽にお問い合わせください！！

一般社団法人 沖縄県貿易協会 大城・伊礼

〒900-0033 沖縄県那覇市久米 2-11-13 新垣通商ビル 2階

TEL：098-866-9183 FAX：098-866-9219

E-mail：info@okinawa-trade.or.jp

URL：https://okinawa-trade.or.jp/